令和５年度事業報告書

令和５年度における事業の状況は、次のとおりであった。

Ⅰ．会務・組織運営

１　理事会

（１）令和５年　４月１１日　令和５年第２回理事会（書面決議による開催）

ア　定款の一部を改正する定款について

イ　評議員会の開催について

（２）令和５年　５月２９日　令和５年第３回理事会

ア　令和４年度事業報告の承認について

イ　令和４年度計算関係書類及び財産目録の承認について

ウ　理事候補者の推薦について

エ　監事候補者の推薦について

オ　苦情解決第三者委員の選任について

カ　定時評議員会の開催について

（３）令和５年　６月２８日　令和５年第４回理事会

ア　会長の選任について

イ　副会長の選任について

ウ　評議員選任・解任委員の選任について

エ　令和５年度資金収支補正予算（第１号）について

オ　評議員選任候補者の推薦について

カ　志賀町共同募金委員会運営委員の推薦について

（４）令和５年１２月２０日　令和５年第５回理事会

ア　経理規程の一部を改正する規程について

イ　職員就業規則の一部を改正する規則について

ウ　職員級寄与規程の一部を改正する規程について

（５）令和６年　３月３１日　令和６年第１回理事会（書面決議による開催）

ア　ボランティア活動育成基金の取り崩しについて

イ　令和５年度資金収支補正予算（第２号）について

ウ　役員等賠償責任保険契約について

エ　経理規程の一部を改正する規程について

オ　令和６年度事業計画について

カ　令和６年度資金収支予算について

キ　理事候補者の推薦について

ク　評議員会の開催について

２　評議員会

（１）令和５年　４月１３日　令和５年第１回評議員会（書面決議による開催）

ア　定款の一部を改正する定款について

（２）令和５年　６月１５日　令和５年第２回評議員会

ア　令和４年度事業報告の承認について

イ　令和４年度計算関係書類及び財産目録の承認について

ウ　理事の選任について

エ　監事の選任について

３　監事会

（１）令和５年　５月２２日　令和４年度１月～３月の会計監査及び令和４年度決算監査

（2）令和５年　８月　９日　令和５年度４月～６月の会計監査
（3）令和５年１１月　９日　令和５年度７月～９月の会計監査
※　令和５年１０月～１２月の第３四半期監査は、能登半島地震の影響により第４四半期監査と合わせて開催

4　評議員選任・解任委員会
（1）令和５年　８月　９日　令和５年第１回　評議員選任・解任委員会
ア　評議員の選任について

5　寄附採納業務
年間寄附件数は 22 件で、現金 1,435,197 円の寄附をいただいた。

【寄附金明細】　（単位：円）

No.	氏　名	住　所	金　額
1	大筒　牧男	志賀町安津見	100,000
2	落合　邦夫	志賀町大福寺	100,000
3	辻　慎也	志賀町末吉	100,000
4	匿名	志賀町	10,197
5	匿名	志賀町	50,000
6	志賀町婦人加工連絡会		10,000
7	ＪＡ志賀女性部志賀支部		50,000
8	ＪＡ志賀女性部富来支部		30,000
計			450,197

【ボランティア育成基金寄附金明細】　（単位：円）

No.	氏　名	住　所	金　額
1	蓮瑞寺　吉田　剛	滋賀県大津市	30,000
2	ＮＰＯ法人 Faithful Friend Society	滋賀県大津市	10,000
3	高石市ボランティア連絡協議会	大阪府高石市	190,000
4	太田　隆生	滋賀県高島市	10,000
5	仲間　光	沖縄県石垣市	10,000
6	日本共産党岐阜県羽島市委員会	岐阜県羽島市	20,000
7	337E 地区 7 ゾーン免田ライオンズクラブ	熊本県球磨郡あさぎり町	50,000
8	一般社団法人親切会北陸支部	富山県富山市	350,000
9	仙台市社会福祉協議会	宮城県仙台市	100,000
10	河西　英彦	神奈川県横浜市	50,000
11	沢田　和直	志賀町高浜町	100,000
12	兵庫県立舞子高等学校環境防災科	兵庫県神戸市	50,000
13	匿名	岐阜県	10,000
14	匿名	宮城県	5,000
計			985,000

6　基金運用
（1）寄附金 440,197 円及びまごころ基金管理にかかる預金利息 465 円をまごころ基金に組み入れた。
（2）本会に寄せられた能登半島地震義援金等 985,000 円及びボランティア育成基金管理にかかる預金利息 12 円をボランティア育成基金に組み入れた。
（3）まごころ基金から、まごころ基金助成金として 1,600,000 円、公用車購入費として 1,450,000 円、リクライニング車いす購入費として 171,000 円、広報誌印刷費として 850,000 円を取り崩した。

【まごころ基金助成金の内訳】　（単位：円）

助成先	助成金額	助成金の使途
なでしこ志賀	800,000	福祉有償運送車両購入
はまなす会	800,000	志賀町デイサービスセンター送迎車両購入
計	1,600,000	

（4）ボランティア育成基金から、災害ボランティアセンターの運営費として509,518円を取り崩した。

【基金運用状況】　（単位：円）

基金名		志賀町社会福祉協議会 まごころ基金	志賀町ボランティア 育成基金	運用資金積立預金	合　計
令和４年度末		16,864,700	1,247,819	50,886,000	68,998,519
内訳	増加額	440,662	985,012	0	1,425,674
	減少額	4,071,000	509,518	0	4,580,518
	差引増減額	△3,630,338	475,494	0	△3,154,844
令和５年度末		13,234,362	1,723,313	50,886,000	65,843,675
管理内訳	現金	0	0	0	0
	預金	定期　10,000,000	定期　0	定期　50,886,000	65,843,675
		普通　3,234,362	普通　1,723,313	普通　0	
	その他	0	0	0	0

Ⅱ．地域福祉活動推進事業

1　地域福祉活動計画の推進

（1）ボランティアのニーズ把握と情報提供

ボランティアセンターにおいてニーズの把握と情報提供や関係機関との連絡調整を図った。

（2）世代間交流の推進

老人クラブ連合会と小学生が、ペタンクや昔遊びを通して交流する事業の支援を行った。志賀高校の生徒と老人クラブ連合会会員が、ニュースポーツ体験を通して交流する事業や、志賀高校の生徒が考案したフレイル予防体操を、老人クラブ連合会会員に指導する機会の確保と支援を行った。志賀高校生による廃校活用イベント「志賀フェス」に参加し、老人クラブ会員と生徒が講師として竹とんぼや竹馬、コマ回しなどを行った。また、運動会では民生委員児童委員協議会高齢者部会が加わり、様々な競技種目を通して交流を図った。

志賀町遺族会による小学生への平和教育事業の支援を行った。

（3）事業者の協力による見守り支援体制の構築

石川県及び志賀町と協定を締結して見守り活動を行っている民間企業の把握に努めた。

（4）サロン活動や交流活動の支援

社協広報誌「しかふくし」やホームページに現在活動している様子を掲載し、サロン活動の周知を図った。

（5）福祉関係機関の連携による情報提供の仕組みづくり

地域包括支援サブセンター業務を通じて、地域包括支援センター、福祉・医療関係機関と情報交換を行った。

（6）福祉ニーズの把握と社協の役割の明確化

羽咋郡市自立支援協議会に参加し、生活課題の把握に努めるとともに、今後の協議会の運営のあり方について協議した。

2　第１４回社会福祉大会の開催

１０月１７日に町内の福祉関係者201名が一堂に会し、福祉に対する認識を深め、地域福祉の振興を図るため本大会を開催した。式典では、23名に会長表彰を授与した。式典終了後には、志賀高校の生徒が取り組んだ世代間交流やボランティア活動の実践発表があった。「伝えたい、実現

したい、自分の生き方」と題して、金沢地方法務局　七尾公証役場公証人　太田孝治氏による記念講演を実施した。

3　総合相談事業（町受託事業）

総合相談所を志賀地域・富来地域において毎月１回ずつ開設し、地域住民の日常生活上の心配ごとについての相談に応じ、指導・助言を行った。１月から３月については、能登半島地震の影響により中止とした。

【月別相談件数】　（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	1	1	2	0	4	0	1	0	2	中止			11
志賀	0	4	3	5	1	0	4	4	0	中止			21

【相談内容】

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子保健・児童福祉	教育・青少年	心身障害者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
富来				2	1							9								1	13
志賀			1	1					1	1	2	14							1	4	25

4　高齢者生きがい事業（町受託事業）

羽衣大学の対象者を富来地域と志賀地域に分けて、文化ホールにおいて各６回開催し、高齢者の生きがいづくりを図った。第５・第６講義については、能登半島地震の影響により中止とした。

【講義内容・出席者数（出席率）】

内　　容		富来	志賀
第１講義 11月29･30日	老いることも悪くないなと思える社会を 石川県立看護大学　看護学部長　川島和代　氏	242名 (86%)	160名 (89%)
第２・３講義 12月6・7日 12月13・14日	人生１００年時代の新たな世代交流 ～みんなで志賀町を元気にしよう～ 金沢大学先端科学・社会共創推進機構　准教授　篠田隆行氏	227名 (80%)	153名 (85%)
	全国に伝わる民謡を訪ねて 兼六民謡会	238名 (84%)	151名 (84%)
第４講義 12月20・21日	現代の食事はミネラル不足（新型栄養失調） 加工食品ジャーナリスト・(一社) ナチュラル& ミネラル食品アドバイザー協会　代表理事　中戸川　貢　氏	231名 (82%)	127名 (71%)
第５講義 1月17･18日	幸せのきづ（ず）き方 真宗大谷派　明蓮寺　住職　谷野　了　師	中止	
第６講義 1月24･25日	脳活！ことばの計算力　～ことばと数字でワクワクしよう～ フリーアナウンサー・電卓競技元日本一　重原佐千子　氏	中止	
入学生徒数		283名	180名
卒業証書授与者数		―名	―名

5　身体障害者等移送サービス事業

福祉車両を富来、志賀共に配置し、公共の交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護高齢者の外出支援を行った。（利用登録者　富来：27名　志賀：42名）

【月別延べ利用者数】　（単位:人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	16	9	14	6	4	3	12	0	5	3	5	7	84
志賀	12	14	15	21	14	10	16	14	19	7	10	13	165

6　老人福祉員事業（町受託事業）

町内の一人暮らし高齢者の安否確認や日常生活の支援をすることで、地域で安心した生活が送れるよう 495 名の老人福祉員を配置した。

【老人福祉員配置状況一覧】　（単位：人）

地　区	一人暮らし		老人福祉員	地　区	一人暮らし		老人福祉員
	男	女			男	女	
高浜地区	53	138	21	福浦地区	16	21	0
志加浦地区	56	75	50	熊野地区	18	31	29
堀松地区	27	41	10	富来地区	30	95	55
上熊野地区	30	37	26	稗造地区	17	18	7
土田地区	40	68	38	東増穂地区	29	51	10
加茂地区	10	16	22	西増穂地区	26	33	26
下甘田地区	14	27	18	西海地区	30	44	19
中甘田地区	36	44	33	西浦地区	30	52	48
				計	462	791	412
					1,253		

7　高齢者等除雪対策事業（町受託事業）

自力で除雪が困難な高齢者世帯等に対し、小型除雪機等による除雪作業の支援及び融雪剤の配布を行い、安全と安心を図った。（除雪利用件数　富来 6 件　志賀 9 件、　融雪剤配布件数　富来 0 件、志賀 1 件）

8　ひとり親家庭等・低所得世帯学習支援事業（町受託事業）

ひとり親家庭等や低所得世帯の児童に対し、学習指導や日常生活相談などの家庭以外の居場所の提供を通じた人的支援を行うことにより、学力の向上等を図り将来の安定的な就業と自立の促進につなげるため、参加者を募り学習支援を行った。

（小学生対象　開催時期８月、回数５回、登録人数１名、参加延べ人数５名）

9　福祉サービス利用支援事業（県社協受託事業）

認知症高齢者等、判断能力が十分でない方に対して、金銭管理や福祉サービス利用等の援助を行うことで、地域における自立した日常生活を送れるよう支援した。（3 件）

１０　広報啓発事業

社協広報誌「しかふくし」を年間３回発行し、ホームページで地域福祉に関する広報・啓発を行った。（ホームページアドレス　https://shika-shakyo.or.jp）

１１　福祉団体事務局

各種団体の事務及び活動の支援を行い、事業の活性化及び自立促進に努めた。（ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、傷痍軍人会、英霊にこたえる会、赤十字奉仕団、リハビリ友の会、地域福祉推進チーム）

１２　人工透析通院助成事業

福祉有償運送を利用して通院する人工透析患者に対して、運送料金の助成を行った。

【月別利用者数】　（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
3	2	2	4	4	3	3	3	3	2	3	3	35

１３　フードバンク・フードドライブ事業

企業や家庭で備蓄されている食品の寄贈を受け、生活困窮者や福祉団体など、食の支援を必要としている方へ提供した。（受贈 41 件、提供 118 件）

Ⅲ．ボランティアセンター活動事業

1　ボランティアの登録・斡旋・相談

ボランティア活動者を登録し、活動の斡旋を行うとともにボランティア活動に関する相談を受けた。（登録 889 名、斡旋 175 名、相談 29 件）

2　ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動保険等の加入手続きと掛金の助成を行った。（活動保険加入者 1,016 名、行事用保険 13 団体、福祉サービス総合補償 2 件、送迎サービス補償 3 件）

3　福祉教育の推進

志賀高校生に向けて、高齢者疑似体験を実施した。また、志賀高校生が民生委員・児童委員の訪問活動に同行して高齢者宅へ訪問した。

4　ジュニアボランティア体験事業

志賀町放課後児童クラブの児童とボランティアセンター登録者が、町内に暮らす高齢者に届けるしおりを作成した。

5　地域介護予防活動支援事業（町受託事業）

高齢者の閉じこもり防止と介護予防支援のため、そくさい会連絡会を年 7 回開催し、そくさい会へ職員派遣などの活動支援及び指導を行った。

【そくさい会地区別開催一覧】　（単位：回）

名　称	回数	名　称	回数	名　称	回数	名　称	回数
１・３区小浜	9	北吉田	10	米浜	12	**富来地区計**	**60**
６区	9	清水今江	10	米浜メンズ	7	稗造健康ｻﾛﾝ	9
あさひ	10	末吉	9	**下甘田地区計**	**37**	**稗造地区計**	**9**
はまなす	11	**堀松地区計**	**50**	福野	3	里本江	0
東旭	11	釈迦堂	12	大島	12	給分	11
高浜地区計	**50**	直海	9	坪野	7	中浜	10
川尻	10	米町	12	甘田	9	相神	0
町	10	牛ヶ首	11	**中甘田地区計**	**31**	草江	10
安部屋	10	**上熊野地区計**	**44**	ふくら	9	**東増穂地区計**	**31**
安部屋営団	12	仏木	11	**福浦地区計**	**9**	西海風戸	0
上野	12	印内	10	豊後名	10	西海風無	9
大津	12	たにや	9	中山	8	**西海地区計**	**9**
小浦	12	**土田地区計**	**30**	**熊野地区計**	**18**	赤崎	9
百浦	10	矢駄	0	富来地頭町	9	笹波	0
赤住	12	安津見	10	富来領家町	9	**西浦地区計**	**9**
のとり	9	**加茂地区計**	**10**	しおさい	9		
志加浦地区計	**109**	二所宮	9	富来高田	11		
堀松	9	福井	9	富来七海	11	**合計 57 か所**	
緑ヶ丘	12	大坂	0	富来生神	11	**実施 51 か所**	**506**

6　ボランティア活動の支援

古切手、プリペイドカード、インクカートリッジ等の収集と情報提供を行った。

7　ボランティア団体の支援

各団体の活動が計画的・継続的に発展するために相互の連絡調整を行った。

8　各種用具の短期間貸出

ボランティア団体やそくさい会等にレクレーション用具等の貸出を行った。

Ⅳ．赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

1　一般募金配分金事業

令和４年度に集まった一般募金から配分を受け、福祉教育や地域福祉に関する事業を実施した。

（1）ひとり親家庭で義務教育が修了する生徒へ記念品を贈呈した。（14 件）

（2）社協広報誌「しかふくし」を発行し、社協活動のＰＲを行った。（年 3 回）

（3）社会福祉大会開催への支援を行った。

（4）外出支援事業として車いすの貸し出しを行った。（富来 9 件、志賀 22 件）

（5）生活サポート事業として、在宅で援助が必要な要支援者に対して、志っ賀りサポート隊を派遣

して一緒に家事援助等を行うことで、自立した生活を支援した。

（利　用　者：登録 70 名、利用者 19 名、延べ利用件数 140 件
サポーター：登録 80 名、活動者 24 名、延べ活動件数 326 件）

（6）１２月に高齢者慰問事業として、ボランティア連絡協議会及び民生委員児童委員協議会と協力し、80 歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に生活用品を贈った。(849 世帯)

2　歳末たすけあい配分金事業

令和５年度に集まった歳末たすけあい募金から配分を受け、一般募金配分金と合わせて高齢者慰問事業を行った。

Ⅴ．志賀町共同募金委員会事業

1　会務・組織運営

運営委員会、審査委員会、監事会の開催と会計事務を行った。

2　赤い羽根共同募金運動の実施

１０月から１２月までを運動期間とし、各区に戸別募金を依頼したほか募金箱の設置を行った。

【募金内訳】

種　別	件数(件)	金額(円)	備　　考
戸別募金	5,667	1,416,650	目安額１戸 250 円
街頭募金	1	21,057	
学校募金	5	74,305	小学校２校、中学校２校、高校１校
職域募金	8	70,265	石田工業、長根尾電気、志賀農業協同組合、北陸電力、石川サンケン本社、石川サンケン志賀工場、役場職員互助会、社会福祉協議会
法人募金	0	0	
募金箱	61	126,711	いこいの村能登半島、能登ロイヤルホテル、能登ゴルフ倶楽部、大和ハウス工業、アリス館志賀、花のミュージアムフローリィ、アクアパークシ・オン、みちのえき旬菜館、道の駅とぎ海街道、北國銀行（高浜・富来支店）、のと共栄信用金庫（高浜・富来支店）、町内郵便局（12 か所）、どんたく高浜店、ロッキー（志賀の郷・富来店）、北市、ますもと、くっぺ、花や２４９、ドライブインのうみ、８番らーめん（高浜・富来店）、市左衛門、シュクレ・プラージュ、ＪＡ志賀（中央支店・富来支店）、海洋センターフレア、富来病院、向クリニック、増穂浦ショッピングモールアスク、トギストアー、てらおか風舎、八幡屋、いさりび、ＴＡＫＡＹＡＭＡ、エビス屋、はまのデパート、花よし、とよ島、西海丸、文化ホール、やすらぎ荘、シルバーハウス、とぎ地域福祉センター、役場、社会福祉協議会（本・支所）、匿名１件
イベント募金	4	32,956	ＪＡ志賀秋の展示会、志賀フェス、肉フェス、テント市
その他	2	10,056	匿名寄附、預金利息
合計	5,748	1,752,000	

【使途内訳】　（単位：円）

種　　別	金　　額	備　　考
広域配分	374,000	石川県共同募金会へ
運動経費	23,000	令和６年度一般募金の活動経費へ
社会福祉事業配分	1,263,000	令和６年度の事業へ
災害準備金拠出額	92,000	令和５年度災害準備金拠出分
合計	1,752,000	

3　歳末たすけあい募金運動の実施

１２月に歳末たすけあい募金運動として、増穂浦ショッピングモールアスクで街頭募金(志賀高

校生徒)を実施し、31,174 円の募金が寄せられた。

4　広報活動

社協広報誌「しかふくし」において、募金活動の周知を図った。

5　町内の福祉団体への事業助成を行った。(老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、心身障害者福祉協会、社会福祉協議会) また、ボランティア活動普及のため、町内の学校にボランティア事業に対する助成を行った。(志賀高校)

Ⅵ. 日赤志賀町分区事業

1　赤十字社員増強運動の実施

(1) ５月を赤十字運動月間とし、全戸に広報誌を配布した。

１０月に全戸に広報誌を配布し、各区に戸別社資の依頼を行った。また、志賀地域においては赤十字奉仕団に依頼、富来地域においては集金用封筒を郵送して、日赤会員の会費の徴収を行った。

【社資内訳】　(単位：円)

区　分	金　額
戸　別	1,395,150
会　費	738,000
寄　附	1,700
募金箱	20,000
合　計	2,154,850

【加入会員数】　(単位：人)

区　分	一般会員 ( )は新規加入	赤十字奉仕団
金色有功章	4　(0)	1　(0)
銀色有功章	7　(0)	1　(0)
特別社員	489　(2)	41　(0)
協力会員	40　(0)	112　(7)
合　計	540　(2)	155　(7)

(2) 特別社員、有功章社員が死亡した際、日本赤十字社石川県支部長の弔電をお供えした。(24 件)

2　災害救護活動の実施

家屋火災の被災者へ毛布、緊急セットを配布するが、令和５年度は対象者がいなかった。

3　大規模災害への対応

日本赤十字社石川県支部からの災害義援金受付の要請に対応したが、受付実績はなかった。

Ⅶ. 貸付事業の実施

1　生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

(1) 低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯に対して、その世帯の経済的自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう生活福祉資金の貸付事務を行った。新規の貸付は 2 件であった。

(2) 能登半島地震により被災した世帯に対して、緊急小口資金の特例貸付事務を行った。貸付件数は 34 件であった。

2　小額貸付事業

緊急に生活資金を必要とする者に対し、生活のつなぎ資金として小口貸付を行い、生活の安定を図った。令和５年度における貸付は７件であった。

Ⅷ. 在宅介護サービス事業

1　居宅介護支援事業

在宅の要介護及び要支援高齢者に対して日常生活を営むために必要なケアプランを作成し、町や福祉サービス提供事業者と連携を図りながら、適切な保健医療・福祉サービスが効果的に提供されるように努めた。

【年度別利用者実績】　(単位：人)

	令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
富来	618	787	769	702	567
志賀	1,197	1,185	1,183	1,107	1,171

【月別利用者数】　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	63	61	56	55	55	54	56	58	58	36	34	32	618
志賀	100	103	106	104	104	106	104	105	103	85	88	89	1,197

【要介護度別延べ利用者数（割合）】　（単位：人）

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
富来	252(40.8%)	189(30.6%)	130(21.0%)	40(6.5%)	7(1.1%)	618
志賀	326(27.2%)	415(34.7%)	260(21.7%)	126(10.5%)	70(5.8%)	1,197

【月別介護予防ケアプラン作成件数】　（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	9
志賀	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10

2　訪問介護事業

要介護高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、在宅で日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護サービスの提供を行った。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
872	1,071	1,051	1,011	1,141

【月別利用者数】　（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
87	89	89	87	86	81	77	74	76	43	39	44	872

【要介護度別延べ利用者数（割合）】　（単位：人）

要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
267(30.6%)	278(31.9%)	154(17.7%)	107(12.3%)	66(7.6%)	872

【要介護度別延べ提供回数（割合）】　（単位：回）

要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
3,224 (15.6%)	4,618 (22.4%)	8,512 (41.2%)	2,548 (12.3%)	1,757 (8.5%)	20,659

3　介護予防・日常生活総合支援事業

要支援高齢者及び事業対象者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
221	296	315	323	317

【月別利用者数】　（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24	21	22	21	20	22	22	20	20	12	7	10	221

【要介護度別延べ利用者数（割合）】　（単位：人）

事業対象者	要支援１	要支援２	計
51(23.1%)	42(19.0%)	128(57.9%)	221

【要介護度別延べ提供回数（割合）】　（単位：回）

事業対象者	要支援１	要支援２	計
287(20.4%)	171(12.2%)	948(67.4%)	1,406

4　在宅高齢者軽度生活援助事業（町受託事業）

介護認定で自立と判定された独居高齢者等に対してホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活の援助を行うことで自立した在宅生活の継続及び要介護状態への進行防止を図る事業であるが、令和５年度の利用は０件であった。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
0	0	0	0	0

5　居宅介護事業

障がい者(身体・知的・精神)に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や自立した日常生活が送ることができるよう家事援助等の支援を行った。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
168	198	208	191	196

【月別利用者数】　（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
17	17	17	17	17	17	16	12	14	8	8	8	168

6　重度訪問介護事業

重度の肢体不自由または重度の知的障がい、もしくは精神障がいがあり常に介護を必要とする方の居宅に訪問し、入浴、排泄、食事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行うことで、在宅での生活が続けられるように支援を行う事業であるが、令和５年度の利用は 0 件であった。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
0	0	0	0	1

7　同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方等に対してホームヘルパーを派遣し、外出時における移動に必要な情報を提供するとともに移動の援護を行う事業であるが、令和５年度の利用は 0 件であった。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
0	0	0	0	0

8　移動支援事業（町受託事業）

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ホームヘルパーによる外出の支援を行い、地域での自立生活及び社会参加の促進を図った。

【年度別利用者実績】　（単位：人）

令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
21	19	10	11	11

【月別利用者数】　（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
5	2	1	2	2	1	2	2	2	0	1	1	21

IX. 地域包括支援サブセンター受託事業（町受託事業）

1　高齢者総合相談支援業務

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け付け、個々の高齢者にどのような支援が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなげる等の支援を行った。（延べ 240 件）

2　権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度など、権利擁護に関するサービスや制度を活用するために、行政機関や福祉関係機関につなぎ、高齢者の虐待防止や消費者被害の防止を図った。（延べ 24 件）

3　包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
地域の介護支援専門員や主治医をはじめ、民生委員や老人福祉員等様々な福祉・医療の関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域における様々な社会資源を活用し（包括的）、高齢者がどんな心身状態になっても途切れることなく（継続的）、在宅でも施設でも、その人の生活を支援した。（延べ 104 件）

4　介護予防支援と介護予防ケアマネジメント業務
要介護・要支援認定における要支援１・２の方及び事業対象者に対する介護予防支援、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプランの作成を行い、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行った。（延べ 249 件）

X．在宅医療・介護連携支援センター受託事業（町受託事業）

1　在宅医療に関する専門相談業務
かかりつけ医や介護支援専門員といった医療・介護等のサービス提供者からの在宅医療サービスに関する相談（訪問診療、訪問看護、後方支援病院等）に対して、必要な情報提供、支援・調整を行った。（延 105 件）

2　病院からの退院調整の支援業務
退院後の円滑な在宅医療を開始する際に支障がある場合、医療機関の地域連携室からの要請に応じ、医療機関が実施する退院調整の支援を行った。（延べ 39 件）

3　多職種・多機関の連携推進
地域の医療・介護等関係者の連携を実現するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを目的とした研修会等を行った。（32 回）

XI. 災害ボランティアセンター事業（町受託事業）

令和６年能登半島地震の被災者を支援するため、ボランティアの受入れ、関係機関との調整事務などを行った。

1　経過
１月　９日　災害ボランティアセンター開設
１月１０日　ニーズ受付開始、民生委員にニーズ調査の協力依頼
１月１９日　現地調査開始
１月２６日　ボランティア活動開始
１月２７日　県民ボランティアセンターのボランティアバス受入開始
３月２４日　県民ボランティアセンターのボランティアバス終了
ボランティアは直接志賀町入り

2　運営ボランティアの確保
地域住民
・志賀町ボランティア連絡協議会（ボランティア受付、センター内清掃）
・志賀町商工会青年部（資機材、車両の洗浄作業）
企業
・北陸電力株式会社　２月１日～（土日祝日は除く）　ニーズ受付１名
・トヨタ自動車株式会社　２月７日～３月３１日　総務１名、資機材１名
社会福祉協議会ブロック派遣職員
・１月２４日～２月１３日　近畿ブロック２名
・２月１４日～２月１７日　北海道・東北ブロック４名、四国ブロック４名
・２月１８日～４月　４日　北海道・東北ブロック６名、四国ブロック４名

3　車両配備（３月３１日現在）
・軽トラック２１台（リース９台、無償貸与１３台）

・送迎車両　　７台（社協３台、リース１台、無償貸与３台）

４　ボランティア活動の協力を依頼した企業・団体

企業：北陸電力株式会社、トヨタ自動車株式会社

団体：リユースエイドテック、防災・災害ボランティアかわせみ、災害支援団体I’s、
ＬＯＶＥ　ＥＡＳＴ、災害復旧支援ダッシュ隊、天理教災害救援ひのきしん隊
有明支縁会、くまの地域づくり協議会

５　学生ボランティアの受け入れ

志賀高校、舞子高校（兵庫県）、桜丘高校（愛知県）
日本体育大学、中央大学、大阪体育大学、金沢大学、東洋大学、早稲田大学

ボランティアセンター活動状況　　3月31日現在

月	ニーズ件数				ボランティア受付（人）
	受付	完了	取消	残り	
1月	285	38	21	226	235
2月	472	421	52	225	2,581
3月	487	483	60	169	2,619
累計	1,244	942	133	169	5,435

Ⅸ．在宅医療・介護連携支援センター受託事業（町受託事業）

１　在宅医療に関する専門相談業務　→　「１．相談実績」の延べ人数

２　病院からの退院調整の支援業務　→　「１．相談実績」の相談内容のうち、退院支援の件数

３　多職種・多機関の連携推進　→　「２．その他」の件数